

ケイコ場建設

1980.12.20

31セ

1964年 二定期で 私達が演劇活動を行なうと云うことの意義が一体みこから生まれるのか。そして演劇活動の意義は何か。----演劇を行なうものの責任とは、演劇は誰のために、いかに劇り、云ふのが。---- 演劇芸術家としての責任とは、ほこりを持ち、私たち祖国を、きづつけ、私たち日本人を苦しめつける根源をつきとめ、眞の演劇を創り広めよう。---- 自分の満足だけの演劇から1日も早く抜け出よう、私たちは、波松に活動するあらゆる人々と密接に結びつき、互に批判し援助し、府鎖主義のサークル主義を克服し、波松に働くもののか、働くものの文化財としての劇団からつかせを前進させよう。今日全2の人々が求めつけるのは、生きやすくかであります。未来である。----私たちは、自分を変え、人々を變える力、この矛盾した不合理な醜悪な非情な現実を變える力、私達は、日本人の演劇、リアリズム演劇を志向する。----波松に働くものの演劇を創り広めよう!! 私たちは今日、私たちの演劇藝術のかぎりない希望と發展を知ることが出来る。『劇団からつかせ』の未来は輝く未来。私たちの明日は、星が輝けるじとく美しい!!

----すでに4年前、70年には毎二回の本公演活動、けい古場建設を可能にしよう。という事をぼくらは語り合った。そこには熱、好きがあり、あひゆるばかりのエネルギーがあつた。本真剣にそう思った、その70年が経た。----この寒空に、新しいけい古場さえ見つからず、あつちにウロウロ、こつちにウロウロという有様である。---- 「牛鬼退治」では、三千名という観客動員も可能にした。----なのにどうして今のような状態があるのか。----一つ、観客と共に創造するという「目」、二つ目に、運営委員会と云う。いわば機関車が、公演を前にすると活気つき、そのエネルギーたるや毎度見あげたものである、ところが公演が終、てしまうと、のんびりしてしまう、責任放棄である。----再建への勇気を持とう、エネルギーを燃やそう----「七人の待」とか言って七人だけで頑張り抜いた時もあったではないか----期生はその若いエネルギーを存分に生かし----そして二つの力があつてけい古場建設は可能になるのではないか。1人1ヶ月500円で2年間 3万3千円×30名=100万円 けい古場建設資金、目標額100万円とすること。

| 事公所 | ケイコ場 | |
|---------------------------------|--|------------------|
| 1964 | 1954 | |
| { 桜屋町 315 2.25坪 1室 | { 玄忠寺幼稚園 | 1968. 第4回本公演 |
| { | { | 石川演出「牛鬼退治」普及 3千名 |
| 1971. 3.30 | 1969 村内公民館 | 団員 31名 4期生 15名 |
| { 中島町 16.5坪 4室 | 1970 入江美容院 醉大元キッズ部 | |
| { | { | |
| 1975. 4.30. | 中島町公会堂 | 1974. 第7回本公演 |
| { 身馬町 1409 26坪 5室 二階ものおき付 | { 相生 向宿 すみ 根洗 龍修院 東部公民館 | 大助演出「どん底」普及 2千名 |
| { | { | 団員 31名 特生 4名 |
| 1980. 9.30 | 1978 | 11期生 2名 |
| 1980. 7.23 | 1980 | |
| { | { 本ごう 三浦 身馬 新津 | 1979 第10回本公演 |
| 中田町 595 33.3坪 | | 新演出「乐ラーノ広場」 |
| 6M x 11M ケイコ場付 | | 団員 34名 16期生 12名 |
| | | 普及 475名 |

1976年12月臨時総会でケイコ場建設だけを対象に全員で話し合う

1977年 3月 13日 第1回建設委員会 手持資金 92万円 9名分

1) この建設によって、より強川田結(組織)と創造的高揚をめざす。

1979年 木浪さんの世話を満口章一方より土地售り3事ができ。

1977年の92万へさらに金をつみ上げ着工となる。

ケイコ場 日記

1979年

12月22日 鉄骨購入から始まる。
25日 鉄骨曳馬事務所に入る。
26日(日) 鉄骨切込み加工始まる。

5月 8日 外へキ 3名

11日 外へキ 7名

18日 サッシ 7名

24日 補強竹 2名

6月 7日 サッシ 3名

1980年

1月 3日 仕事始め。

8日 外へキ 4名

6日(日) 中田ケイコ場か左川 統一行動

15日 入口、外へキ 7名

27日(日) 整地完了 統一行動

21日 入口 2名

2月 3日、鉄骨曳馬より中田にうつす。

29日 外へキ、床 9名

17日 鉄骨加工 3名

7月 5日 床

24日 地鎮祭、

6日 床 外へキ = 8箇 7名

3月 2日(日) 1本目の柱仕上げ

12日 入口 3名

9日(日) 3名

13日 床半分 6名

16日(日) 柱半分以上仕上げ。 6名

17日 休沐、床はり 3名

17日 半日休 作業

19日 床はり 5名

20日 柱半分完了

20日 床完成 7名

29日 1日休 屋根骨にかかる。

27日 周辺切り、ひらい、入口 3名

4月 3日 1日休 柱完成 屋根骨 3名

8月 2日 内かべ 3名

20日 基礎はり方はい3. 4名

3日 暫時工事入 7名

27日 さく止め 5名

4日 半日休 浴室MUV 2名

29日 " 5名

5日 内装 夜勤 2名

30日 棚上準備

5 19日間 のべ 5名

5月 1日 半日休 基礎合せ 4名

連日 15日 16日 統一作業 15名

2日 棚上準備

31日 4日間休みをとる。

3日 棚上

11名

9月 3日向製作日と 引きこも 13日～23日

4日 " "

5名

のべ 22名参加

5日 屋根スレート

7名

11月 23日～7日まで 小屋づくりのべ16名参加

ケイ工場財政

支出

| | |
|----------|---------|
| 建築申請 | 70,000 |
| 基礎 | 147,000 |
| サッシ | 110,000 |
| 暖気関係 | 229,058 |
| 壁骨関係 | 383,289 |
| 木材関係 | 420,600 |
| 水道印代 | 90,000 |
| 56年度借代 | 100,000 |
| 機材機械代 | 188,381 |
| 塗料関係 | 17,900 |
| 屋外外ハキ | 323,250 |
| タッピングナット | 27,555 |
| 落成関係 | 36,685 |
| 小屋関係 | 34,950 |
| その他 | 25,015 |

2202,643

収入

| | |
|-----------|---------|
| 官下公平な財政よ) | |
| 2,210,000 | — |
| 残金 | 7,357.— |
| 計25か月 | 1,952— |
| 便引金 | 5,000— |

来月5ヶ月残金 169,450—

現在公演財政と三年個人金より
しほりかれてある。

支局5ヶ月定金 便ソウ 14,000
水道市納金 60,000
水道工事費 109,000